

一人ウォーキング

「泉自然公園周辺の自然と史跡巡りコース」を歩く

千葉市といえば世界的に「縄文遺跡」の町として知られている。町中が縄文遺跡と言っている。ここ泉自然公園周辺では縄文時代から現在まで累々とたくさんの人たちが生活を積み上げてきた跡がまとまって残っている。

いくつかの史跡を見学するウォーキングコース（約5 km）を歩いてみた。歩行時間1時間30分・見学時間1時間30分・所要時間3時間のコース。

バス停留所泉自然公園から出発。まずは村の入り口に置かれた「道祖神」を参拝。そして「まつくれば（馬繰場）」に置かれた「馬頭観音」を見学し白井小学校内に設置されている「白井村道路元標」「大賀ハス池」を見学。

旧東金街道を歩き、「妙興寺（千葉市内最古の日蓮宗の名刹）」へ。「お杖桜」を見学しながら日合上人が開いた檀林跡を展望。

再び旧東金街道を歩き「上人塚」とその横にある縄文遺跡「八反目（はっため）遺跡」で縄文土器探し。そして「慈眼寺」「清水不動」を見学しながら「六社神社」へ。神社合祀で集められた小さな祠を6つ探す。

今回のメインストリートの「旧東金街道（最も古い東金みち）」を歩く。

泉自然公園の外側を囲むように並木道が続いている。千葉にもこんな美しい街道があるのかとびっくりする並木道が続いている。途中で泉自然公園「大草原」に入り「上ノ台遺跡」「山の台遺跡」を通り、泉橋から「カワセミ」の生息地を見て「宮ノ台遺跡」疱瘡神「バー神様」を見学してバス停「泉自然公園入口」へ。

泉自然公園の近くには縄文遺跡、中世の城跡、古墳、千葉街道、佐倉街道、御成り街道など歴史的に残さなければならない遺跡がたくさん存在する。今回はその一部を歩いてみた。（12月例会用下見ウォーキング）

日野正生

写真は12月の餅つき&ウォーキング

